

# 平成22年度予算が可決

## (3月定例議会)

平成22年度一般会計予算は75億7千900万円の前年度対比3億4千400万円の減額となった。しかし前年度予算には、松伏小学校屋内運動場(体育館)新築の予算が含まれており、一方22年度予算には子ども手当給付費の約7億円があり、実質的には前年度と同程度の予算規模となった。

# 子育て教育に重点

地震に耐える安全な学校

金杉小体育館・松伏中技術棟の耐震診断 (401万円)

町立第一保育所に障がい児指導員増員と

民間保育所の増築による待機児童解消 (2億133万円)

子ども手当での支給 (7億313万円)



金杉小学校体育館での研究発表

### 教育の重点施策

**問 渡辺** 教育関係予算の重点は何か。  
**答 教育総務課長** 魅力ある学校づくりのための非常勤講師の活用。同じくALTの活用。その他に元気な学校をつくる地域連携事業を継続する。

### 耐震診断

**問 渡辺** 金杉小学校体育館耐震診断委託料25万3千円と松伏中学校技術棟耐震診断委託料186万4千円の内容は。  
**答 教育総務課長** 安全安心な児童・生徒の教育環境を充実するものである。

**問 渡辺** 耐震診断の進捗は。  
**答 教育総務課長** 現在耐震診断の進捗は86%で金杉小学校と松伏中学校の技術棟の診断を行うと95%になる。現地調査の内容は、図面の照合と建物の履歴調査の結果を整理し軸組図、伏図、小屋伏図面を作成し1S値算定をする。

### 障がい児保育

**問 吉田** 障がい児保育を充実するには職員をふやすのか。  
**答 福祉健康課長** 障がい児保育は、知識や経験も必要である。今後は民間保育所でも障がい児保育を実施できるよう先進地や事例を参考にしていきたい。

### 子ども手当

**問 山崎(正)** 子供手当は、国から支給される(7億313万円)これらの支給はどのようにするのか。  
**答 福祉健康課長** 子供手当での給付事業で、目的は、次世代の社会を担う子供一人一人の育ちを社会全体で応援するものである。中学校卒業までの児童を対象に一人につき1万3千円を支給する。



### 民間保育園の増改築

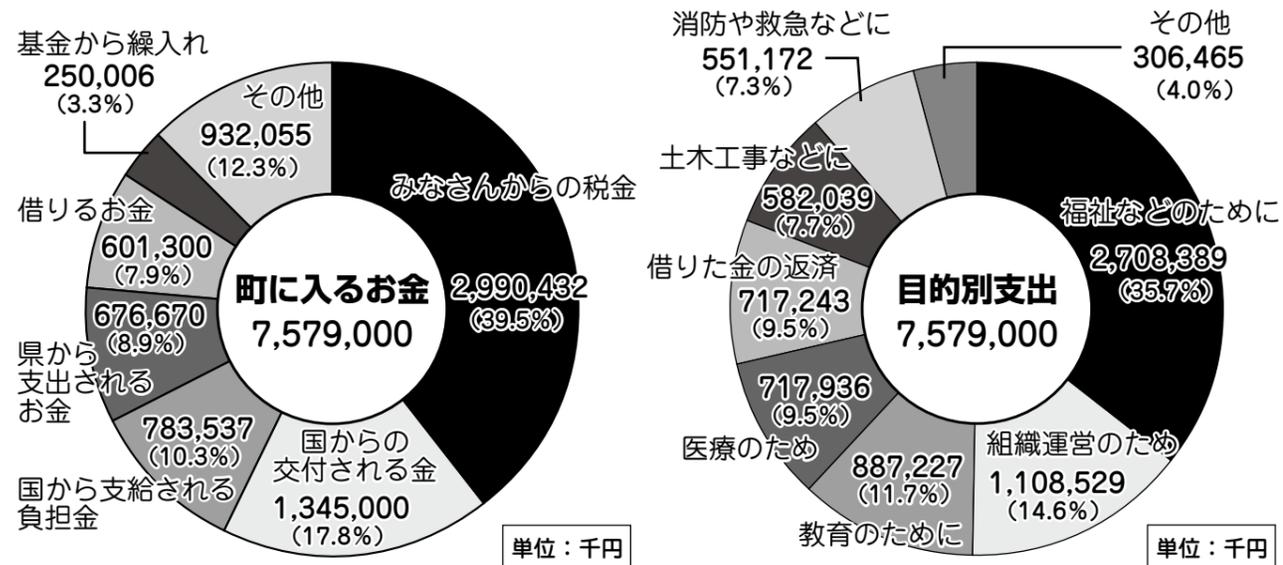
**問 鈴木** 園舎整備の補助金2億1千110万円の財源内訳をいせ。  
**答 福祉健康課長** 12分の8が国県補助金。12分の2が町補助金。12分の2が事業者負担である。

これにより、この保育園の定員が100人から165人になる。



# 総額 75億7900万円

## 一般会計予算 主な質疑



24時間いつでも納付が可能に

**町税の減収**  
 高橋 個人町民税8千300万減になった説明を。税務課長 経済の混乱により、給与所得者の減収が予想され、大幅な減収となった。

**町民との対話**  
 南田 町民との対話をどのように考えているのか。  
 町長 町民の皆様の見解を聞くチャンスが多く、意見・提案等を大切にしたい。

**職員研修**  
 南田 職員育成の計画は。  
 総務課長 職員個人の特性に応じたきめ細かな個別指導と、自ら学ぶ自立研修を考えている。

**高橋 納付率の推移**  
 税務課長 平成20年度は87.5%である。また、経歴豊富な指導員を配置することによって、職員の資質向上に力を入れる。



町主催で町民まつりを実施

**町内パトロール**  
 南田 新規事業で町内総合パトロール事業が計画されている、その内容は。  
 総務課長 防犯パトロール、違反簡易広告物除去、町内清掃、道路パトロール等、日常のかつ総合的に実施することにより、防犯、交通安全、生活環境の美化向上、町民の安心・安全を守ることを目的としている。

**コンビニ収納**  
 佐々木 コンビニエンスストア収納システム導入により、収納率は上がるのか。  
 税務課長 導入することにより、住民の利便性は高まり、収納率は上がるかと考えている。

**学カテスト**  
 福井 学力テスト検査委託料はどんなテストなのか。  
 教育総務課長 進路判断テストである。

**飯島 22年度の町民まつりの内容は。**  
 環境経済課長 昨年度うまくいったので、今年度も町が実行委員会を組織して実施しようと考えている。

**荘子 事業及び実施内容は何か。**  
 福祉健康課長 乳幼児家庭を訪問し不安や悩みを聞き、子育て支援をする。保健師と助産師が担当し、140件を見込んでいます。

**賛成** 新自民クラブ 山崎善弘

平成22年度は町税の減額が見込まれるが、国や県の補助制度等を上手に活用した予算になっている。また、コンビニ収納が予算化され、利便性が大きく向上する。

町内保育所の待機児童の解消、民間保育園舎の増改築、学校施設の耐震診断などで充実が図られ評価できる。

文化振興の拠点である田園ホール・エローラの舞台照明設備の改修も実施する。

依然として厳しい財政の中、暮らし満足度1番の町を実現する努力が伝わってくる。

**賛成** 町民クラブ 堀越利雄

平成22年度予算は、一般会計予算75億7900万円、前年度と比べると3億4400万円の減である。これは、前年度松伏小学校の体育館の新設工事があったからである。今年度は、子ども手当7億313万円が増えた。これは教育・次世代を担う子どもたちのために非常に力になる予算だと思う。

特に民生費の中で、ゆたか保育園の補助費が計上されている。これは待機児童解消に向けて推進していると思いい、高く評価する。また、金杉小学校体育館、松伏中学校技術棟の耐震診断は、安心・安全な町づくりから高く評価できる。

**反対** 日本共産党 吉田俊一

町の行財政を見直し、住民サービス充実させるのは大きな課題だ。資源環境組合の負担金の是正。5市に比べ、ゴミで1.7倍、し尿で1.3倍の負担だ。町長の取組まない理由(信頼関係を壊す・機運の高まりがない・お互いプラスの条件がない)と姿勢は誤りだ。搬入量で計算すると松伏町は約1億円以上も多く負担している。新工場建設と20年間の運営費が決まる重要な時だ。斎場事業の運営方法、配食サービス廃止、同和事業の改善、職員定数と適性配置も、同じように軽視できない。

- 採決の結果**
- ◆賛成12人
    - 新自民クラブ 高橋・山崎(善) 山崎(正)・荘子 渡辺・飯島
    - 町民クラブ 堀越・鈴木・長谷川
    - 公明党 南田・佐々木
    - 民政クラブ 福井
  - ◆反対2人
    - 日本共産党 吉田・広沢